

R6重点目標『自ら学び、共に生きる子どもの育成（**自学共生**）』

スローガン～さあ、ともに やってみよう！～

令和6年7月19日（金）

学校通信 夏休み号

小郡市立のぞみが丘小学校

校長 野田 和明

# のぞみの子

## ＜「友待つ桜」の姿をたくさん見ることができました！＞

なかよし班登校で1年生の歩調に合わせてくる上級生の姿、遠足・発育測定・体力テスト等で1年生をサポートする6年生の姿、行き渋っている下級生に優しく声をかける上級生の姿など、他を気遣い共に行動する「友待つ桜」の姿をたくさん見ることができました。

学級内でも「どうしたと？」「大丈夫？」そんな声かけができる子が増えてきています。

## ＜事故や事件に巻き込まれないように！＞

のぞみが丘小校区は丘陵地帯にあり、大きなため池がいくつか点在しています。故郷の風景として、その眺めはとても素晴らしいです。

ため池は農業用水になったり、大雨の時の調整をしたり、大事な役目があります。しかし一方では、その池で、遊んだり、子どもだけで魚釣り等をしたりと、大変危険です。底が見えなかったり、土手が滑りやすくなったりしているからです。近づかないことが危険から身を守る一番の方法です。夏休みに水難事故等が起きないようにお声かけください。

また、のぞみが丘小校区には七夕通りから国道3号線への大通りや、家と家の間を巡らす小さな道路がたくさん通っています。また、坂道がとても多いというのも特徴です。

道路を渡る時は、横断歩道を、必ず自分の目で左右を確かめる習慣を身に付けることが、自分の身は自分で守ることにつながります。特に、雨の日などは傘をさして見にくい上に、音も聞こえにくいです。坂道でスピードが出た自転車とぶつかることもあります。道路でのボール遊びやスケボーなども大変危険です。この機会に各家庭でご指導ください。

元気な笑顔で、出校日に会えることを楽しみにしています。出校日に欠席される場合は、必ずご連絡をください。連絡がないと心配して通学路やご自宅まで伺うこととなります。

## ＜夏休みには自由研究を！＞

毎年、素晴らしい作品に出会うことができます。本年度も楽しみにしています。

特に、長い休みだからこそできる継続した観察・実験活動や、地元の調査・探求活動等、自由研究では、次のようなまとめ方を参考にしてほしいと思います。

- 1 調べようと思ったわけ（めあて）
- 2 調べる方法やその計画（予想）
- 3 調べた内容や過程（写真や絵、図表やグラフで）
- 4 調べたデータ結果やその感想（まとめ）
- 5 参考にした本や資料など

理科作品ならば「福岡県小・中学生科学作品展」に、社会科作品ならば「小郡ジュニア歴史博士」に奮ってご応募ください。力作をお待ちしています。

また、地元である野田宇太郎献詩や「社会を明るくする運動」の作文等、身近な場面や気になる出来事を題材にして、子ども目線・子どもの感性を文字で表現してみませんか。

点数化されたテスト結果も大事な学力ですが、このような発想豊かな粘り強い自由研究や作品等も大切な学力として育んでいきたいです。夏休み後の8月28日提出です。

